

「自らの学びを高める」子どもの資質・能力及び態度

資質・能力及び態度		低学年（１・２年生）	中学年（３・４年生）	高学年（５・６年生）
課題に向かう意欲	基本姿勢	・教師や仲間の話、教師の資料提示等に興味・関心を持ち、反応しながら課題を把握したり、見つけたりする。		
	興味・関心を持ち、問題を把握する	・身近な「ひと・もの・こと」と関わったり、生活の中で気づいたりしたことから興味・関心を持ち、やりたいことやわからないことを見つける。	・身近な「ひと・もの・こと」と関わったり、好きなことや気になっていることを見つめなおしたりして興味・関心を持ち、やりたいことや解決したいことを把握する。	・「ひと・もの・こと」と関わったり、自身の生活経験や学習経験から振り返ったりして興味・関心を持ち、やりたいことや解決したいことを、明確な理由をもって把握する。
	解決への見通しをもつ	・やりたいことを実現したり、わからないことを解決したりするために、何をすればよいか、自分なりに考えて活動しようとする。	・追求のゴールを考え、その過程で必要な物事を洗い出したり、その順序を考えたりする。	・自分なりの思いや考え、予想、仮説をもって、追究のゴールまでの道筋を考え、目的、相手や対象、取り組みの内容、方法を明らかにし、見通しをもつ。
自力で考える力	基本姿勢	・課題について静かに考える。	・既習や体験をもとに考える。	・制限時間内に考えをまとめようとする。
	情報を整理・分析する	・教師や仲間の話や体験等を通して、課題について感じたり、気づいたり、考えたりする。	・課題に照らし合わせて、様々な情報を選択、比較、分類などをしながら自分なりの思いや考えをもち、思いや考えの理由を明確にする。	・課題解決に向けて、様々な情報を選択、比較、分類、関連付けなどをしながら自分なりの思いや考えをもち、根拠を明確にする。
	自分の考えをまとめる	・思いや考えが相手に分かるように、わけをつけて、正しく丁寧にまとめる。	・思いや考えが相手に分かるように理由を明確にしたり、具体例を挙げたりして、詳しく分かりやすくまとめる。	・思いや考えを相手が納得できるように根拠を明確にしたり、必要に応じて、図表やグラフ等を用いたりしながら、表現を工夫してまとめる。
学び合う力	基本姿勢	・考えがある時は挙手をし、発言しようとする。	・話す時は聞き手の方を向き、理由をつけて話す。	・聞く時は、話し手を見て反応しながら聞く。
	自分の考えを表現する	・思いや考えを相手に伝えたいという願いを持って発信したり、様々な表現方法の中から選び、楽しんで表現したりする。	・自分の考えが相手に分かるようにまとめて伝えたり、相手意識・目的意識をもって表現したいことにあった方法を考えながら進んで表現したりする。	・自分の立場や意図が相手に納得してもらえるようにまとめて伝えたり、目的に応じて方法を考え、工夫して表現したりする。
	聞き合い、学んだことを自己に生かす	・仲間の意見の大事なことを落とさないように聞き、そのいいところを見つけて共感したり、自分と違う意見があることがわかったりし、友達と学ぶよさや喜びを感じる。	・仲間の意見の中心を意識しながら聞き、自分の意見と比べたり、つなげたりしながら、共感したり、違う考えについて一緒に考えたりし、これまでの自分の考え方や行動を見つめなおす。	・仲間の立場や意図を考えながら聞き、自分の考えと比べたり、つなげたり、まとめたりし、これまでの自分の考え方や生き方を見つめなおす。
振り返る力	基本姿勢	・①めあて・課題について、②自分が変わったこと（自己の成長）、③仲間が変わったこと（仲間の成長）の３視点で学習の振り返りができる。		
	学びを整理し、自己の成長に気づく	・学び合いを通して何がわかったかを振り返り、それまでとは違う自分に自信をもつ。	・学び合いを通してできるようになったことやわかったこと・感じたことを振り返り、自分の成長に気づき、自信や意欲を高める。	・学び合いを通してできるようになったことやわかったこと感じたことを振り返り、自分の成長に気づき、自己肯定感や意欲を高める。
	仲間のよさを認め、自己に生かす	・仲間のいいところを見つけて共感し、自分の考えに入れたり、まねをしたりすることができる。	・仲間のよさや成長に気づき、仲間のよさを自分の考え方や行動に取り入れたり、仲間の成長を誉めたりすることができる。	・仲間のよさや成長に気づき、仲間のよさを自分の考え方や生き方に取り入れたり、仲間の成長を認め、共に喜んだりすることができる。

※「基本姿勢」の欄にある子どもの姿は全学級に共通する目指す子どもの姿であり、本校が育成すべき、子どもの資質・能力及び態度の基盤となるものです。